

令和5年6月8日

自主防災組織代表者 各位

大竹市総務部危機管理課長

令和5年度避難の呼びかけ体制・ステップアップ訓練の参加に関する希望調査について（照会）

入梅の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

令和5年度避難の呼びかけ体制・ステップアップ訓練への参加について、希望調査を行います。

別紙1～4の資料をご覧になり別紙5（希望調査票）で回答してください。参加を希望しない場合も回答をお願いします。

回答期限：令和5年7月14日（金）

避難の呼びかけ体制については、大竹市ホームページで詳しい解説をしています。「避難の呼びかけ体制」で検索するか下記のQRコードを読み込んでください。



- 別紙1 全般（避難の呼びかけ体制事業説明）
- 別紙2 令和5年度ステップアップ訓練実施要領
- 別紙3 訓練項目
- 別紙4 補助金交付制度
- 別紙5 希望調査票

【連絡先】大竹市総務部危機管理課 堀江
Tel：59-2119 Fax：57-7130

全般（避難の呼びかけ体制事業説明）

1 避難の呼びかけ体制とは

令和2年度から、広島県消防保安課が各市町と共同で推進中の事業です。

平成30年7月豪雨の教訓に基づき、住民に早めの避難を促すため、呼びかけを開始するタイミングや、呼びかけ方法などのルールを決めて、自主防災組織が大雨災害に対して、効率的で効果的な呼びかけを行う仕組みの事です。

各々の組織にあった呼びかけ体制をつくるには、起こりうる災害や組織体系、地域の状況などを考慮して、ルールを決めていく必要があります。

呼びかけ体制は、次の5つのステップで構成されます。



最終段階（Step4・5）の段階において、県の補助金を活用し、訓練に関連する機材購入費の交付を受ける制度があります。（別紙4参照）

2 大竹市の訓練方法

Step		1	2	3	4	5
内容		防災意識の醸成	地域特性の把握	呼びかけ体制づくり	呼びかけ体制の実践	呼びかけ体制の検証
手法		セミナー	DIG ※1	WS ※2	避難訓練 情報伝達訓練	訓練振り返り
大竹市 訓練方法	防災セミナー	○				
	集合訓練 ※3		○集合型	○集合型		
	ステップアップ訓練 ※4		○個別型 手順1	○個別型 手順1	○ 手順4	○ 手順5

3 実績等

(1) 防災セミナー

毎年実施中（令和5年度は6月3日に実施済）

(2) 集合訓練（※3）

達成率90%（対象40組織のうち36組織終了）に達したため、この取り組みは令和4年度をもって終了、今後、未参加組織（4組織）はステップアップ訓練で対応

(3) ステップアップ訓練（※4）

達成率10%（対象40組織のうち4組織終了、令和4年度末時点）

(4) 訓練進捗状況

自主防災組織	集合訓練		ステップアップ訓練		自主防災組織	集合訓練		ステップアップ訓練	
	○済/未	年/月	○済/未	年/月		○済/未	年/月	○済/未	年/月
3 元町1丁目	済	R2/11	済	R4/5	47 港町1丁目	済	R2/11	未実施	
4 元町2丁目	済	R2/11	未実施		49 防鹿	済	R2/11	未実施	
6 元町4丁目	済	R2/11	未実施		50 穂仁原	済	R2/11	未実施	
8 本町2丁目	済	R2/11	済	R3/12	51 比作	済	R2/11	未実施	
9 白石1丁目	済	R2/11	済	R5/2	52 安条	済	R2/11	未実施	
10 白石2丁目	済	R4/11	未実施		53 前飯谷	済	R2/11	未実施	
11 新町1丁目	済	R2/11	済	R3/11	54 後飯谷	済	R2/11	未実施	
12 新町2丁目	済	R2/11	未実施		56 玖波1丁目	済	R3/10	未実施	
13 新町3丁目	済	R2/11	未実施		59 玖波4丁目	済	R3/10	未実施	
14 油見連合	済	R3/10	未実施		60 玖波5丁目	済	R3/10	未実施	
17 南栄1丁目	済	R2/11	未実施		62 玖波7丁目	済	R4/11	未実施	
19 西栄1丁目	済	R4/11	未実施		63 玖波8丁目	済	R3/10	未実施	
20 小島連合	済	R2/11	未実施		64 大人原.大迫	未実施		未実施	
25 東栄県営	済	R4/11	未実施		66 松ヶ原町	済	R4/11	未実施	
26 北栄県営	済	R4/11	未実施		67 広原	未実施		未実施	
27 立戸連合	済	R2/11	未実施		68 谷尻	未実施		未実施	
33 小方1.2丁目北	済	R4/3	未実施		69 後原	済	R3/10	未実施	
34 小方2丁目	未実施		未実施		70 小栗林	済	R3/10	未実施	
41 御園台	済	R3/10	未実施		71 大栗林	済	R3/10	未実施	
43 黒川連合	済	R2/11	未実施		72 谷和	済	R3/10	未実施	

未実施 ステップアップ訓練対象組織

大竹市ホームページで詳しい解説をしています。「避難の呼びかけ体制」で検索するか下記のQRコードを読み込んでください。



4 用語解説

※1 DIG (ディグ) とは

Disaster Imagination Gameの略で、直訳すると災害・想像力・ゲームとなります。この訓練では、地域にどのような災害リスクがあり、どこが危険でどこが安全か、ハザードマップ等を使用し、地図の上で地域の状況を把握する作業を行います。

※2 WS (ワークショップ) とは

英語のWorkshopで、直訳すると「作業場」となりますが、「参加者が主体性をもって参加するイベント」の意味で使用しています。この訓練では、共同作業の形式で「呼びかけのタイミング」や「呼びかけの方法」など避難の呼びかけ体制に必要なルールを作り上げます。

※3 集合訓練とは

複数の自主防災組織が同時に参加し、各組織から代表者4名程度が参加する形で、DIGとWSを実施します。この訓練形態を集合型と呼んでいます。より多くの自主防災組織に呼びかけ体制づくりを浸透させることを目的とします。(令和4年度で終了しました。)

※4 ステップアップ訓練とは

単一の自主防災組織毎に実施し、自主防災組織から多数（主に班長以上）が参加し、各組織の能力向上を目的とします。この訓練形態を個別型と呼んでいます。

最終段階である避難訓練又は情報伝達訓練、訓練振り返りまで完了することを目的とします。また、集合訓練で集合型DIG・WSを経験済みの組織についても、より深い学習を目的として、個別型DIG・WSの実施を推薦しています。

大竹市ホームページで詳しい解説をしています。「ステップアップ訓練」で検索するか下記のQRコードを読み込んでください。



令和5年度 ステップアップ訓練実施要領

対象組織：ステップアップ訓練に未参加の自主防災組織（35組織）

元町2丁目、元町4丁目、白石2丁目、新町2丁目、新町3丁目、油見連合、
南栄1丁目、西栄1丁目、小島連合、東栄県営、北栄県営、立戸連合、
小方1・2丁目北、小方2丁目、御園台、黒川連合、港町1丁目、防鹿、比作、安条、
前飯谷、後飯谷、玖波1丁目、玖波4丁目、玖波5丁目、玖波7丁目、玖波8丁目、
大人原大迫、松ヶ原町、広原、谷尻、後原、小栗林、大栗林、谷和

1 訓練名

令和5年度 避難の呼びかけ体制 ステップアップ訓練

2 訓練項目

別紙3のとおり

3 補助金交付制度

別紙4のとおり

4 回 答

期 限：令和5年7月14日（金）（希望しない場合も回答をお願いします。）

回答方法：希望調査票（別紙5）を記入し、危機管理課へ郵送・FAX又は持ち込みで提出

訓練項目

1 訓練名 : 令和5年度 避難の呼びかけ体制 ステップアップ訓練

2 対象組織 : (集合型) DIG/WS (※) が終了した組織

手順	実施項目	時間	標準型	省略型	適切な日程間隔
0	事前調整会議	1時間	○	なし	2週間 ~1か月
1	(個別型) DIG/WS (※)	3時間	○	なし	
3	事前調整会議	1時間	○	○	同一日
4	情報伝達訓練 (又は避難訓練)	3時間	○	○	1週間 ~2週間
5	訓練振り返り				

手順3~5
自主防災組織が計画を作成し
主体的に実施

省略型の適用
別途調整

手順2 (連絡網整備) は、各自主防災組織が各個に実施すること。

凡例 ○ : 講師・県・市・自主防が参加

補助金交付制度

(令和5年度大竹市避難の呼びかけ体制構築支援事業補助金交付制度)

ステップアップ訓練実施要領の手順4～5（情報伝達（避難）訓練・訓練振り返り）の段階において、県の補助金制度を活用し、訓練に関連する機材購入費を交付する制度です。

1 補助金額

1 組織あたり最大10万円（過去交付済の組織を除く）

2 対象機材

情報伝達（避難）訓練または、訓練振り返りで使用する機材
第6項（補助金による購入資機材の例）参照

3 提出書類（申請時）

大竹市要綱（第5項参照）に示す以下の書類

- (1) 申請書（別記様式第1号）
- (2) 事業計画書（別記様式第2号）
- (3) 防災資機材購入予定一覧（別記様式第3号）
- (4) 収支予算書（別記様式第4号）
- (5) その他必要と認める書類

見積書（金額が税込み価格で記載されたもの）

注意点：上記書類に記載する組織名は、同一の名称を記載すること。

4 適用条件

以下の条件を満たすこと

- (1) 別紙第1で示す手順5（最終段階）まで訓練が完了すること。又は既に終了していること。（最終段階まで完了しなかった場合、補助金の支払いはできません。）
- (2) 下記の期限内に、書類提出が完了すること。

ア 申請書（※）

期限1及び2をともに満たすこと。

期限1：8月31日（木）

期限2：手順4・5（情報伝達（避難）訓練・訓練振り返り）実施予定日の1ヶ月以前

イ 実績報告（※）

期限1及び2をともに満たすこと。

期限1：1月31日（水）

期限2：訓練完了から2週間以内

※ 申請書及び実績報告書：（別添）大竹市避難の呼びかけ体制構築支援事業補助金交付要綱（第4条及び第6条）で定義した書類

- (3) 過去に本補助金の交付を受けていないこと。

5 要綱（大竹市避難の呼びかけ体制構築支援事業補助金交付要綱（大竹市告示第85号））

大竹市ホームページで公開中です。

検索方法は下記①・②のいずれかで確認できます。

① 「避難の呼びかけ体制構築事業補助金交付要綱」をweb検索する方法

② QRコードを読み込む方法



6 その他

(1) 補助金による購入資機材の例

訓練の種類	訓練の内容	資機材
情報伝達訓練 避難訓練	避難の呼びかけのための情報伝達、呼びかけ・安否の確認のための情報収集、避難誘導等	携帯用無線機、携帯用ラジオ、ハンドマイク、メガホン、懐中電灯、投光器、ロープ、ヘルメット、腕章、ホワイトボード、コードリール等
	要配慮者等への避難支援	リヤカー、車いす、けん引式車いす補助装置等はしご、たんか等

(2) 大竹市自主防災組織訓練助成金（最大2万円）との併用が可能

希望調査票

訓練名：令和5年度 避難の呼びかけ体制 ステップアップ訓練

回答期限：令和5年7月14日（金）必着

不参加の場合も
回答して下さい。

対象組織：ステップアップ訓練に未参加の自主防災組織（35組織）

元町2丁目、元町4丁目、白石2丁目、新町2丁目、新町3丁目、油見連合、
南栄1丁目、西栄1丁目、小島連合、東栄県営、北栄県営、立戸連合、
小方1・2丁目北、小方2丁目、御園台、黒川連合、港町1丁目、防鹿、比作、安条、
前飯谷、後飯谷、玖波1丁目、玖波4丁目、玖波5丁目、玖波7丁目、玖波8丁目、
大人原大迫、松ヶ原町、広原、谷尻、後原、小栗林、大栗林、谷和

Q1 組織名を記載して下さい。

組織名	
-----	--

Q2 ステップアップ訓練への参加希望調査

該当する項目に○印を付けて下さい。

希望する	相談の上で判断したい	今年度は見送りたい

Q3 Q2で「希望する」を選択された組織は、下記について回答して下さい。

手順	訓練項目	希望時期 (記入例：○月頃)	呼びかけ体制 補助金希望の有無 ○：希望 ×：不希望
0	○訓練事前調整会議		/
1	個別型 ○ DIG (災害図上訓練) ○ WS (ワークショップ)		
3	○訓練事前調整会議 (避難訓練・情報伝達訓練)		
4	○ 避難訓練 又は ○ 情報伝達訓練		
5	○訓練振り返り		

回答先 大竹市役所危機管理課

TEL：59-2119

Fax：57-7130